

学校建設に係る教職員アンケート結果

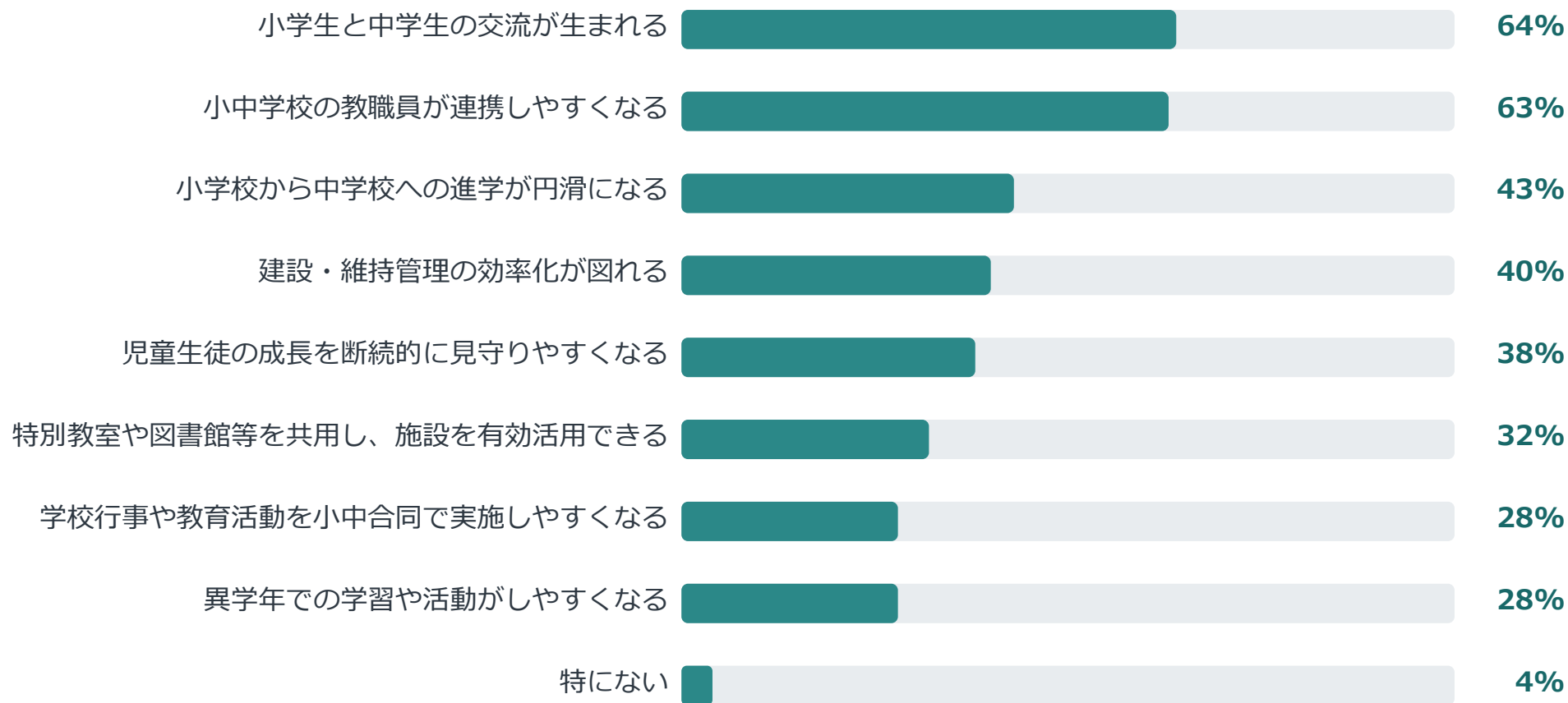
回答者 : 南知多町内の小中学校教職員

回答数 : 100件

実施期間 : 令和8年9月11日から令和8年9月24日まで

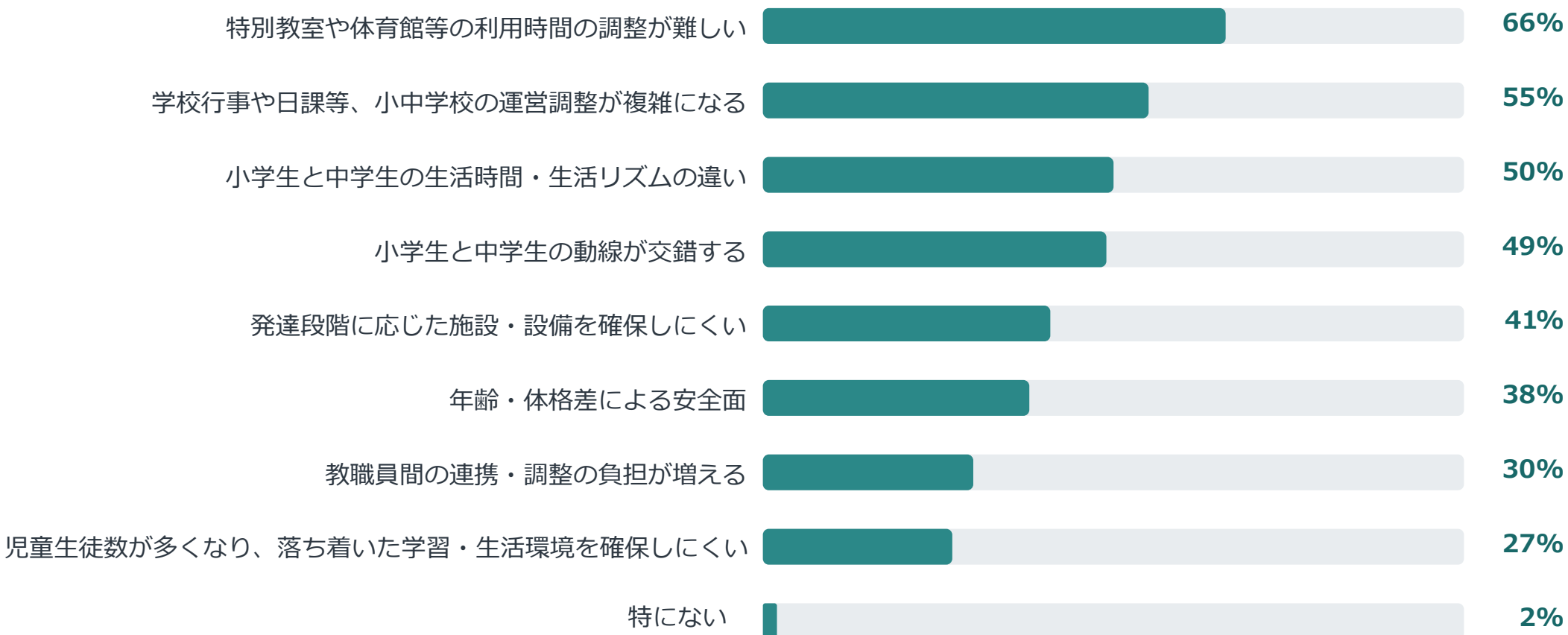
※本資料は回答傾向を整理したものであり、施設形態等の結論を示すものではありません。

小学校・中学校を「同一棟」とする場合に「期待」すること (選択は5つまで)



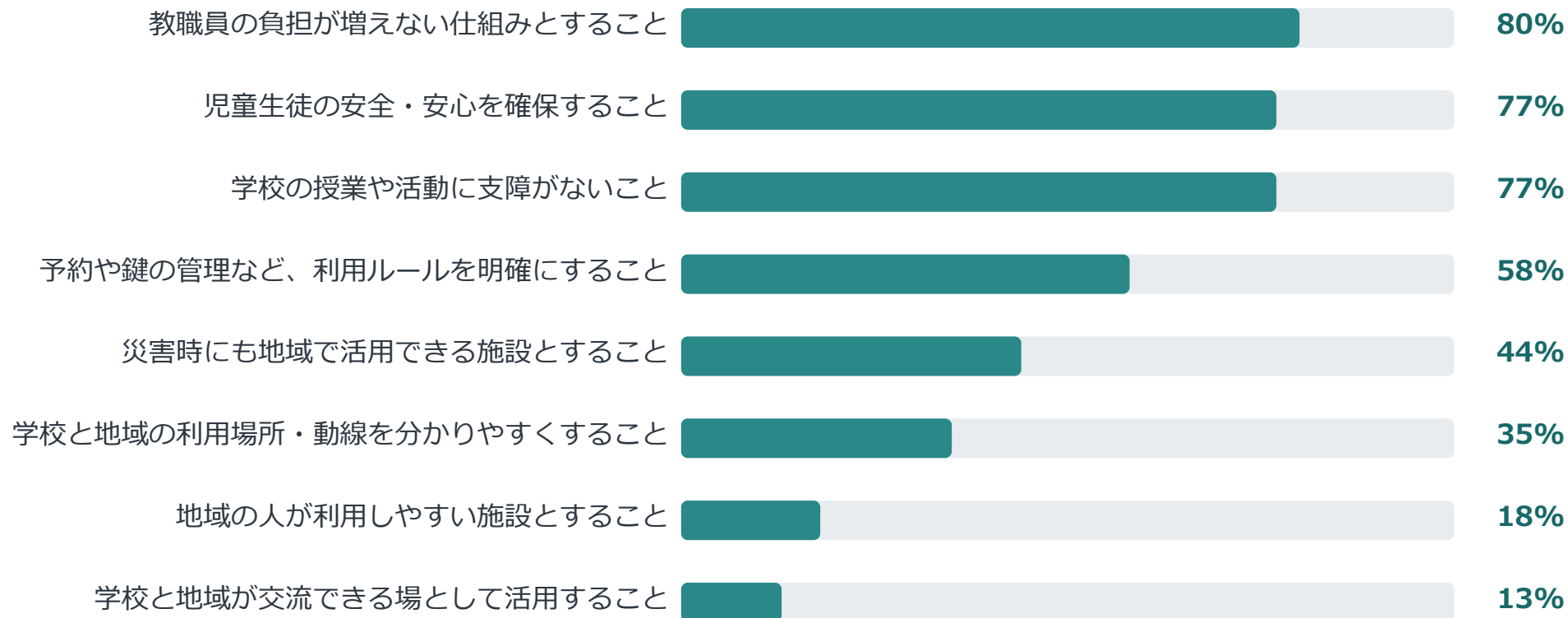
回答100件を母数とした割合

小学校・中学校を「同一棟」とする場合に「懸念」すること (選択は5つまで)



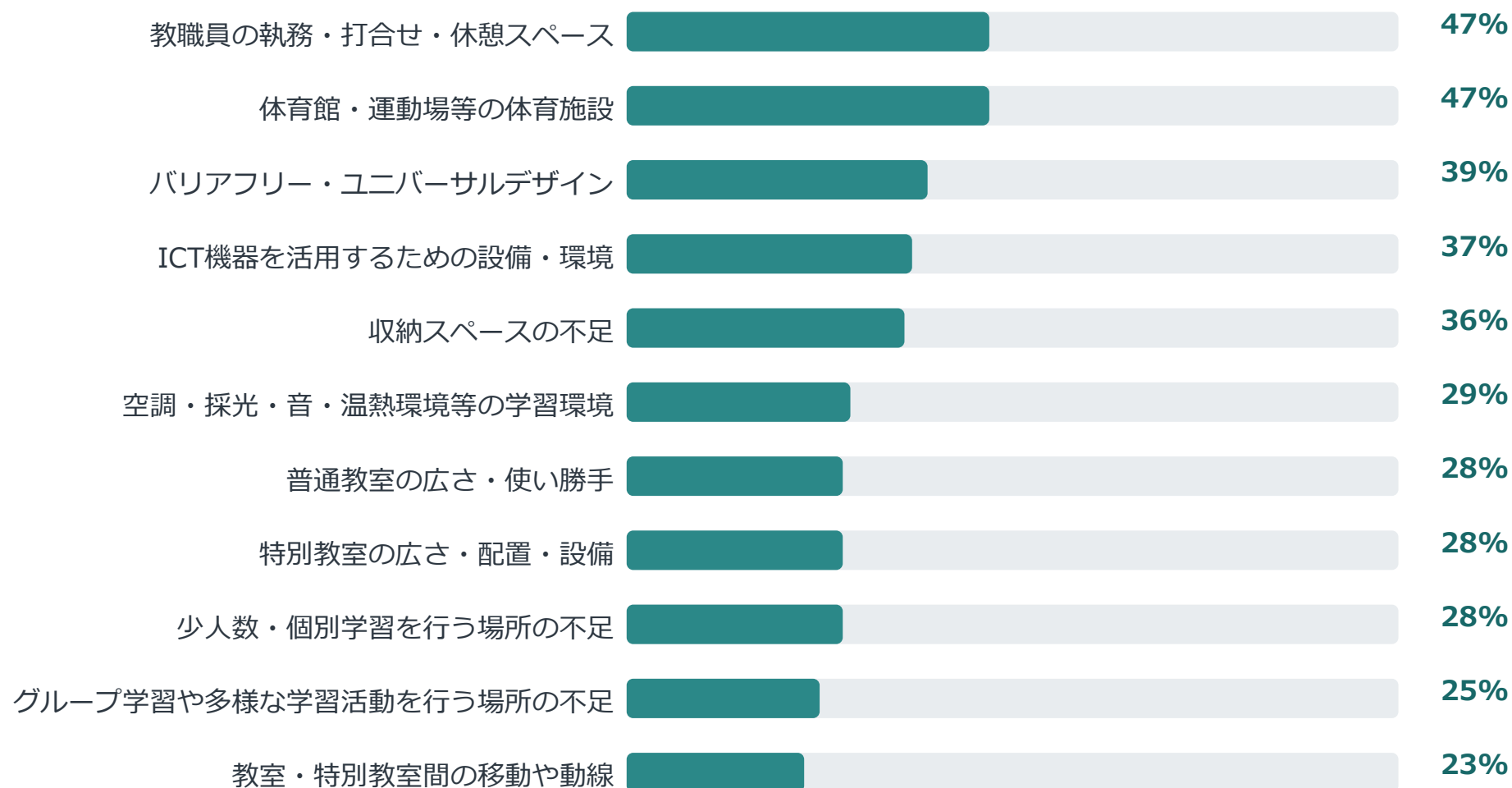
回答100件を母数とした割合

学校施設の地域開放の方向性を考える上で、大切にすべきこと (選択は5つまで)



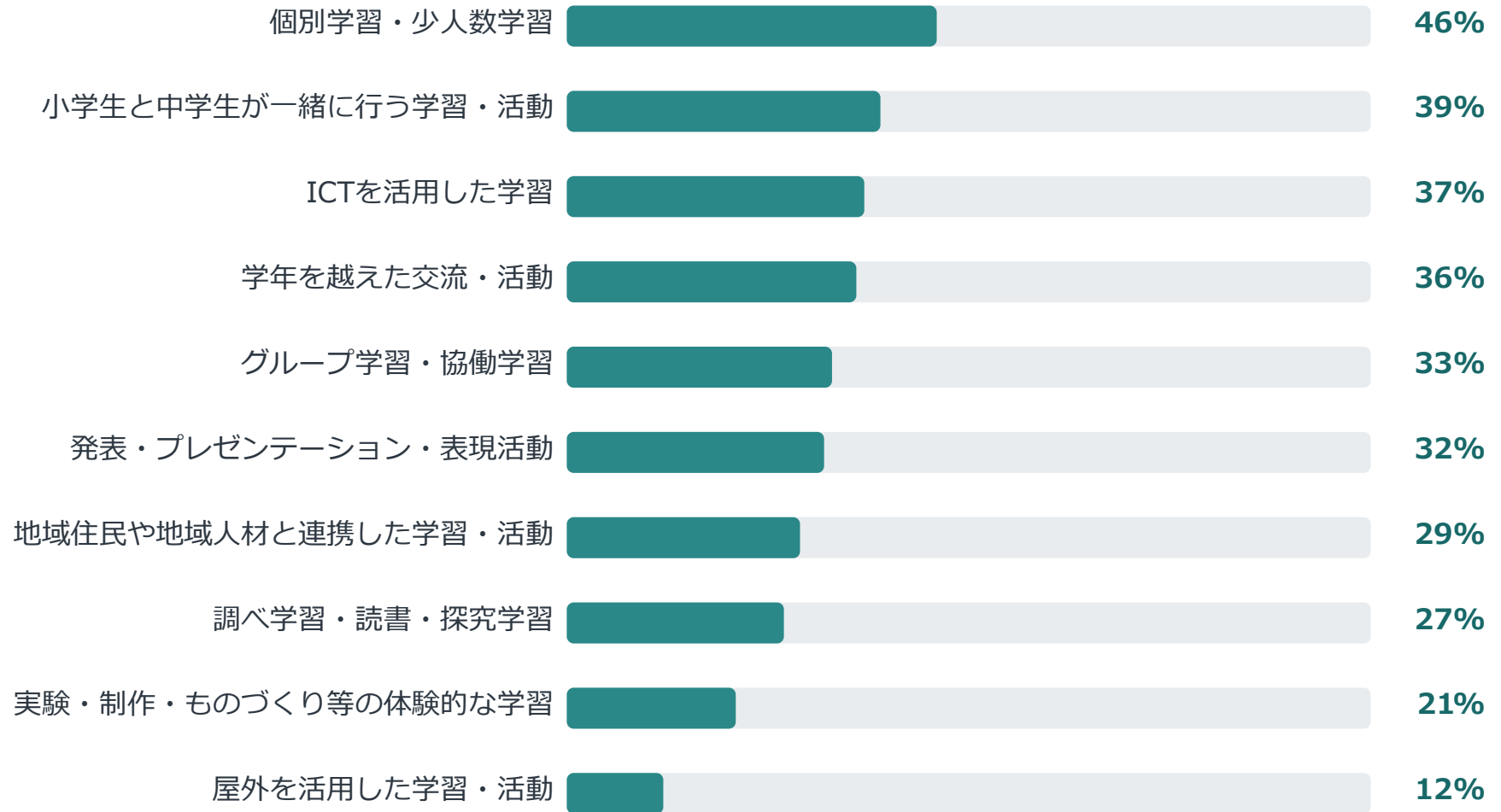
回答100件を母数とした割合

現在の学校施設の使い方において感じている課題



回答100件を母数とした割合

新しい学校で実現したい活動（選択は5つまで）



回答100件を母数とした割合

「小学校・中学校を「同一棟」とする場合に期待すること」自由記述

自由記述22件を内容別に整理。似た意見をまとめ、回答の趣旨が伝わるよう要約しています。

【児童生徒の交流・成長】

- ・小学生と中学生が日常的に顔を合わせ、交流やあいさつの機会が増える。
- ・異学年での交流や活動が増え、授業だけでは得られない経験や学びが生まれる。
- ・小学生が中学生の姿を身近に見ることで、将来の自分の姿をイメージしやすくなる。
- ・中学生にとっても小学生との関わりを通じて、自身の成長を実感できる。

【小中連携・情報共有】

- ・小学校と中学校の教職員が日常的に顔を合わせ、小中連携が進む。
- ・児童生徒の情報を小中学校間で共有しやすくなる。
- ・特別支援学級を含め、進学前後の児童生徒について情報共有や引継ぎがしやすくなる。
- ・小中学校の教員が連携し、それぞれの専門性を生かした教科指導や教育活動を行いやすくなる。

【進学・継続した支援】

- ・小学校から中学校への環境の変化が少なくなり、「中一ギャップ」の軽減につながる。
- ・進学後の学校生活を身近に感じることで、児童や保護者の不安軽減につながる。
- ・小学校から中学校卒業までを見通した、継続した指導や支援を行いやすくなる

【小中合同の教育活動】

- ・学校行事や教育活動を小中合同で実施しやすくなる。
- ・異学年での学習や活動を行いやすくなる。
- ・小学生と中学生と一緒に活動する機会が増える。

【施設・維持管理等の効率化】

- ・特別教室などを共用することで、施設を有効活用できる。
- ・建設費や維持管理費などの効率化が図れる。
- ・施設や備品の修繕、管理を一体的に行いやすくなる。
- ・施設管理や学校運営に必要な人員・経費の効率化につながる。

「小学校・中学校を「同一棟」とする場合に懸念すること」自由記述

自由記述31件を内容別に整理。似た意見をまとめ、回答の趣旨が伝わるよう要約しています。

【発達段階・体格差・安全面】

- ・小学1年生と中学生では、体格や心身の発達段階が大きく異なり、同じ施設・設備を使うことが難しい。
- ・机・椅子、トイレの便器、バスケットゴールなど、発達段階に応じた設備が必要になる。
- ・小学生と中学生が同じ場所で過ごすことで、体格差による安全面や放課時の過ごし方が心配。

【学校生活・児童生徒への影響】

- ・小学生と中学生で生活時間や生活リズムが異なり、移動教室や活動時の騒音が心配。
- ・図書室など、中学生が静かに利用したい場所で小学校低学年の児童が静かにできないことが心配。
- ・休み時間の過ごし方や運動場の使い方など調整が必要になる。
- ・9学年が混在することで、全体の統一や規律が難しくなる。
- ・人数が多くなり人間関係がより複雑になった場合の対応が難しくなる。

【教職員・学校運営】

- ・小中の時間割や行事等の調整が増え教職員の負担が大きくなる。
- ・小中それぞれを優先したい場面で、学校間の調整や意思決定が難しくなる。
- ・職員室を一つにすると、小学校だけ・中学校だけのことが動きづらくなる。
- ・小中それぞれの職員間の考え方の違いから、対立や調整の難しさが生じる。
- ・小中の校長同士の連携や相性により学校間の調整が難しくなる。

【特別教室・時間割の調整】

- ・小中の授業時間や時間割が異なり、特別教室や体育館等の利用時間の調整が難しい。
- ・同じ特別教室を使うと、授業が重なった場合に利用できなくなる。
- ・テスト週間などに小学生の移動や活動が中学生の学習を妨げることがある。
- ・45分授業と50分授業の違い、チャイムの調整など、時間割編成が複雑になる。
- ・急な時間割変更や行事変更が難しくなる。

【小学校・中学校それぞれの独立性】

- ・小学校卒業という節目が感じにくくなる。
- ・小学6年生が「小学校の最高学年」という意識を持ちにくくなる。
- ・篠島小・日間賀小の児童が中学校へ進学した際、疎外感が生じることが心配。
- ・同一敷地内にあるだけでも小中の交流や連携は可能であり、必ずしも同一棟にする必要はない

【同一棟そのものへの慎重・反対意見】

- ・発達段階が違うことを考慮すると、別々の校舎がよい。
- ・小学生と中学生では体格も心の成長も大きく異なり、交流することのプラスよりマイナスが大きい。
- ・経費面のメリットを優先して一つの棟にすることには反対。
- ・同一棟のメリットは同じ敷地内であれば実現でき、予算以外のメリットは見つけれられない。
- ・小中一貫校とするなら同一棟のメリットはあるかもしれないが、別々の学校とするなら同一棟にするメリットを感じない。

「学校施設の地域開放の方向性を考える上で、大切にすべきこと」自由記述

自由記述17件を内容別に整理。似た意見をまとめ、回答の趣旨が伝わるよう要約しています。

【児童生徒の安全・学校教育を最優先】

- ・児童生徒が安心・安全に過ごし、成長できる学校施設。
- ・学校である以上、児童生徒の生活・利用のしやすさを大前提とすること。
- ・授業の妨げにならないこと。
- ・地域開放によって児童生徒の活動中に不審者が侵入することへの安全面の配慮。
- ・地域利用によって授業や児童生徒の活動が制約されないこと。

【地域利用の場所・時間・管理方法】

- ・地域に開放する場所を明確にし、土日などを中心に開放すること。
- ・日中は地域住民を校舎に入れず、17時以降に地域住民が集まれる場所を設けること。
- ・校舎部分は施錠し、地域利用部分と分けること。
- ・鍵の管理について行政が担うこと。
- ・地域利用にあたって利用ルールを明確にすること。

【施設・備品の利用と責任】

- ・学校の道具を使用する際の安全な使用、整理整頓、破損時の報告。
- ・施設や設備、備品を破損した場合の弁償など、利用者の責任を明確にすること。
- ・破損等が生じた場合に、地域利用者と学校のどちらが責任を負うのかを明確にすること。
- ・忘れ物、ごみ、トイレの使い方、掃除、物品の片付け等への対応。

【教職員の負担】

- ・地域開放による忘れ物、清掃、片付け、破損対応等で学校職員の負担が増えないこと。
- ・地域開放の窓口となっている管理職の負担を増やさないこと。
- ・各地区との意見調整、地域行事への参加、日程調整、お知らせ等の負担への配慮。

【地域利用のしやすさ・交流】

- ・南知多町には図書館がないため、充実した本を備えた図書館。
- ・島民が施設を利用する際の船賃など、交通費の負担への配慮。
- ・地域学校協働活動やコミュニティ・スクール拠点。
- ・子どもと地域住民が関わり、南知多町のよさを伝える場。

「現在の学校施設の使い方において感じている課題」 自由記述

自由記述35件を内容別に整理。似た意見をまとめ、回答の趣旨が伝わるよう要約しています。

【施設の老朽化・設備】

- ・学校施設全体の老朽化、便器・トイレ環境の改善、体育館の雨漏り、特別教室・体育館の空調不足
- ・運動場の水はけやトラックの見えにくさ、使えない遊具による休み時間の遊びの制限
- ・プールがないことによる他校施設の利用

【バリアフリー・安全】

- ・エレベーター、スロープ、手すりの不足
- ・肢体不自由な児童生徒の特別教室・トイレ等への移動
- ・給食を上階へ運ぶ際の負担
- ・車いすトイレなど、すべての人が使いやすい施設への対応
- ・換気や感染症対策、災害時の安全な避難、緊急車両が出入りしやすい道路・出入口、防犯面に配慮した門・出入口

【学習・個別支援のためのスペース】

- ・通級指導教室、相談室の不足、教室に入らない児童生徒が過ごす場所の不足
- ・生徒指導・教育相談・更衣場所の不足、少人数指導を行う場所の不足
- ・通級指導と相談室を共用していることによる使いにくさ

【収納・教職員スペース】

- ・農機具、掃除道具、ワックス、行事用品等の収納不足
- ・体育用品を収納するスペース、会議室、教職員の休憩スペースの不足
- ・印刷機の不足、ロッカー・棚等の老朽化

【教室・ICT・特別教室】

- ・タブレットを使用するには狭い机
- ・後方から見えにくい小型モニター、電子黒板等のICT機器・環境、教室の掲示スペースの不足
- ・特別教室の設備不足

「新しい学校で実現したい活動」自由記述

自由記述19件を内容別に整理。似た意見をまとめ、回答の趣旨が伝わるよう要約しています。

【小中・異学年の交流】

- ・小学生と中学生の交流、異学年での交流・活動
- ・小学校高学年と中学校教員とのふれあい
- ・小中合同での地域まつり・学校祭
- ・同一校舎だからこそできる活動
- ・小学生が中学校での活動を身近に感じる機会

【学習・探究・ICT】

- ・南知多中学校のクリエイティブミーティング等の活動
- ・小学校段階から中学校の学習や活動を見ながら進める学習
- ・大人数でのグループ学習
- ・ICTを活用した交流・学習
- ・南知多町全体を捉えた探究学習

【地域との学習・活動】

- ・地域交流の場となる活動
- ・地域の方から南知多町のよさを学ぶ活動、地域の力を借りた「生きる力」を身につける活動
- ・南知多町の地域活性化につながる活動

【多様な子どもへの対応】

- ・学級へ登校しづらい子どもへの学習支援、発達特性により一斉授業が難しい子どもへの対応
- ・「学習する権利」を守るための取組、別室登校への対応
- ・小学校高学年での中学校の学習内容を踏まえた教育

「新しい学校で実現したい活動」を実現するために、どのような施設・設備・空間があるとよいと思いますか。 自由記述

自由記述24件を内容別に整理。似た意見をまとめ、回答の趣旨が伝わるよう要約しています。

【多目的・交流スペース】

- ・複数学年での活動や集会などに使える、広い多目的スペース・多目的ホール
- ・学習や交流、様々な活動に使えるワークスペース
- ・上野間小学校の「レインボーホール」のような、広く多目的に使える空間

【個別支援・多様な学びのための空間】

- ・個別指導、別室登校、待機、カウンセリングなどに使える個別支援スペース
- ・多様な子どもに対応し、落ち着いて過ごしたり、教室以外で学習したりできる複数の部屋

【地域との交流・地域利用】

- ・地域学校協働活動やコミュニティ・スクールの拠点となる、地域住民も利用できる図書館・ホール・カフェ等のスペース
- ・学校と地域利用を分けられるよう、別棟や施設などにより学校部分と区分できる地域利用スペース

【ICT・学習環境】

- ・全館Wi-Fi、貸与PC、電子黒板、プロジェクター、リモート機材など、ICTを活用できる環境
- ・特別教室や特別支援教室も含め、ICT機器を使える教室環境・パソコンルーム

【体育・特別教室・図書館等】

- ・大きな体育館、水はけのよい運動場、体育用品を収納できる大きな倉庫
- ・空調のある特別教室や、理科室・理科準備室、図工・美術室、音楽室などの実技教科の施設
- ・大きな図書館や、花壇・農園・農器具庫などの学習・体験に使える施設

【将来の児童生徒数・学校構成への対応】

- ・将来的な児童生徒数の増加に対応できる教室数の余裕
- ・小学校エリア、中学校エリア、共同エリアを分けた施設構成や、柔軟に使える空間